

令和 4 年度事業報告

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)



公益財団法人 九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

令和4年度事業報告について

定款第5条に基づき、令和4年度は以下の事業を実施した。(総括)

<p>1. 地域経済研究事業</p> <p>(1) 自主研究事業</p> <p>①九州経済白書の刊行 ③幹事会からの提案による自主研究 ⑤その他の事業</p> <p>②月報等定期刊行物の発行 ④地域経済情報のデジタル配信</p> <p>(2) 受託研究事業</p> <p>(3) 九経調地域研究助成事業</p> <p>(4) 休眠預金等活用事業（ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業）</p> <p>(5) おでかけウォッチャー事業</p>
<p>2. 講演会・セミナー事業</p> <p>(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等</p> <p>①九州経済白書説明会</p> <p>(2) 定例の講演会・セミナー</p> <p>①九経調交流会 ③調査技法セミナー</p> <p>②アジア経済講演会 ④経済講演会</p> <p>(3) BIZCOLIでのセミナー・イベント</p> <p>①ビズコロトーク（イブニングセミナー） ⑤サイエンス・カフェ</p> <p>②地域経営セミナー ⑥BIZCOLI 倶楽部</p> <p>③共催セミナー ⑦ビッグデータセミナー</p> <p>④九州国立博物館応援セミナー</p>
<p>3. 経済図書館（BIZCOLI）事業</p> <p>(1) 地域経済図書館としてのサービス</p> <p>(2) 会場室の利用状況</p> <p>(3) スキルアップ・リモートワークのための個室空間の提供</p>
<p>4. 経済団体等支援事業</p> <p>(1) 福岡経済同友会の事務局</p> <p>(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局</p> <p>(3) 地域政策デザインスクールの事務局</p> <p>(4) 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムの事務局</p>
<p>5. 社会貢献活動等</p> <p>(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣</p> <p>(2) 大学への非常勤講師の派遣</p> <p>(3) テレビ・ラジオ等への出演</p> <p>(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載</p> <p>(5) インターンシップの受入等</p>
<p>6. 会務運営</p> <p>(1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催</p> <p>(2) 財務経理・人事労務並びに人材育成の強化</p> <p>(3) 会員維持・拡大</p>

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」でレポートを作成・発表するとともに、Web サイトを通じて「④地域経済のデジタル配信」に取り組んだ。

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は昭和42年（1967年）の刊行以来、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。令和4年度は、「九州地域の観光復興に向けて～スマホデータにみる観光行動の変容と観光地の対応」をテーマに刊行した。コロナ禍による観光行動の変容と観光産業への影響を、スマートフォンの位置情報データをもとに明らかにするとともに、観光復興に取り組む先進の事例を紹介し、今後求められる観光地づくりのあり方を検討した。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

「九州経済調査月報」は九州・沖縄・山口の経済動向を見据えながら、毎月テーマを設定して刊行している。デジタル観光プラットフォーム「おでかけウォッチャー」の運用開始に先立ち、5月号では、観光DXをテーマに観光・人流ビッグデータを特集した他、7月号ではビッグデータでみる都市機能を集めた。10月号は、本土復帰50周年を迎えた沖縄県に焦点をあてた。また、BIZCOLI開館10周年に伴い11月号では「図書館」を集めた他、幹事会からの提案による自主研究と連動して、12月号では「アグリテックの未来」、2月号では「女性の人口移動」をテーマに取り上げた。

さらに3月号では、「アートと地域」をまちづくりの観点から特集するなど、新しい分野のテーマを積極的に掲載した。

発行日	内 容	
4月号 4月4日 (月) 発行	特 集 (Report)	2022年度の九州経済 コロナ禍の九州経済の動向と2022年度の展望 図説九州経済・DATASALADの最新情報と活用例(2022年) (One point) 多くの県で人口の社会減傾向が続き、福岡都市圏の一強状態に拍車がかかる ～総務省「令和2年国勢調査」移動人口 (連載) 価値創造の源流(62) 株Smolt(宮崎市)
5月号 5月9日 (月) 発行	特 集 (Report)	観光DX デジタル観光動態統計プラットフォームおでかけウォッチャーの開発 ～観光人流の見える化へのチャレンジ～ 新たな人流指標「おでかけ指数」の開発 戦略的観光施策展開のためのデジタル観光統計による糸島市観光客の動向調査 ウィズコロナ時代における九州地域の宿泊施設動向と今後の取り組み可能性 お土産におけるブランディングとSNSの可能性～ネジチョコの事例を中心に～ 位置情報・ビッグデータカンファレンス2021 セミナー講演録 観光動態モニタリングサービスの魅力と活用方法 (連載) 価値創造の源流(63) 株ライトハウス(福岡市中央区)

6月号 6月6日 (月) 発行	特集 (Report) 九州の地域研究 2021年度 九経調地域研究助成事業 福岡在住外国人の地域社会包摂に向けたコミュニティ・ハブ理論 応用に関する考察 コーポレートガバナンスの視点から女性の役員登用を進める価値とそのステップ 防災・BCP 関連産業振興可能性調査 (講演録) これからの時代 地域が生き残るための三つの視座
7月号 7月4日 (月) 発行	特集 (Report) ビッグデータでみる都市機能 Wi-Fi AP データからみる都市開発による影響の分析～熊本市の中心市街地開発を事例として Wi-Fi AP データからみる都市内回遊の形成要因～長崎・宮崎・鹿児島の間移動データの比較による考察 上場企業と新市場企業を指標とした日本の主要都市と都市システム (One point) 進む企業の災害リスク認知や BCP 策定課題は耐震・浸水対策、予備電源確保 (連載) 価値創造の源流 (64) 日本情報クリエイティブ(株) (都城市)
8月号 8月4日 (木) 発行	特集 (Report) アフターコロナの健康経営 治療から予防へ 健康経営の変遷 産業医の実践から見る「労働者の健康問題」と「健康経営」 医療・健康分野のデータ活用で実現する健康経営 2022年九経調交流会 特別講演 予測不能の時代 データが明かす生き方、企業、そして幸せ (One point) 個人企業統計からみるコロナ禍の影響 (連載) 価値創造の源流 (65) ㈱ネクストシステム (福岡市南区)
9月号 9月6日 (火) 発行	特集 (Report) 地方創生の新しい流れ 地方創生の新しい流れ 脱炭素で地域経済の活性化を実現する「九州モデル」 ～EV アイランドとしてのポテンシャルが高い九州～ eスポーツがインストールされた社会がもたらす新しい価値 ～新しいステージへと展開する e スポーツ～ 新時代のアトツギが日本を変える！～ベンチャー型事業承継のススメ～ (連載) 価値創造の源流 (66) タカヒコアグロビジネス (九重町)
10月号 10月4日 (火) 発行	特集 (Report) 未来へ進む沖縄 本土復帰後の沖縄振興の推移 観光リゾートとテクノロジーの融和が生み出す DX 時代の働き方 沖縄の製造業における現状と課題・沖縄の製造業 (事例紹介) 琉球泡盛のこれから～地場産業および伝統文化としての展開可能性) (One point) 2020年国勢調査に基づく 2050年までの将来推計人口 (連載) 価値創造の源流 (67) ㈱うむさんラボ (うるま市)
11月号 11月7日 (月) 発行	特集 (Report) 人と知と地域を繋ぐ図書館 BIZCOLI の挑戦～会員制ビジネス図書館の新たな地平を拓く 過疎の秘境に「UI ターンを生む図書館」 椎葉村図書館「ぶん文 Bun」が生む ソーシャルイノベーション 市民と知との出逢いを演出する公共図書館 (特別講演) 日本経済展望～新しい資本主義と九州の戦略 (前編)
12月号 12月5日 (月) 発行	特集 (Report) アグリテックの未来 アグリテックの技術開発・普及の現状 九州におけるアグリテックの開発、取り組み アグリテックの展望 (特別講演) 日本経済展望～新しい資本主義と九州の戦略 (後編)

	(連載)	アグリプレナーの実践 (24) 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄 (福岡市西区)
1月号 1月10日 (火) 発行	特集 (Report)	九州の新たな1年 コロナ禍を乗り越えた地方中小企業の海外進出の取り組み 西九州新幹線開業後1カ月間における人流変化 (連載) 価値創造の源流 (68) ㈱エル・エー・ビー (宮崎市)
2月号 2月6日 (月) 発行	特集 (Report)	女性の人口移動 データからみる女性の人口移動とその背景 20-30代の就業に関する意識 女性から選ばれる企業を目指して 2023年度九州経済見通し 回復ペースが鈍化も生産・輸出堅調
3月号 3月6日 (月) 発行	特集 (Report)	アートと地域 アートがひらく地域の寛容性 大分県別府市におけるアートプロジェクトの取り組み 西日本最大規模のアートNPO「BEPPU PROJECT」の挑戦と成果 福岡にアジアのアートマーケットを ART FAIR ASIA FUKUOKA の挑戦 自衛隊職員による地域経済への影響と地方創生への貢献 (連載) 価値創造の源流 (69) 大の葬祭グループ (豊後大野市)

2) 2023年版 図説九州経済

「図説九州経済」は九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで判りやすく解説するもので、毎年1回刊行している。2023年版は、前年に続き九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」と連動した一体的なデータ提供を行った。

『2023年版 図説九州経済』 11月刊行

3) メールマガジン (九経調ニュースレター)

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナーや、当会の刊行物等の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 129件 (令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金))

③幹事会からの提案による自主研究

幹事会で提案されたとおり、令和4年度は「アグリテック・フードテック」と「女性の人口移動」の2つのテーマに関して調査研究を実施した。九州経済調査月報と連動させ、12月号に「アグリテックの未来」、2月号で「女性の人口移動」の特集を組み、ビズコリで開催するセミナー(ビズコリトーク)にて成果報告を行った。

アグリテックの未来 九州経済調査月報 12月号
女性の人口移動 九州経済調査月報 2月号

④地域経済情報のデジタル配信

創立 70 周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」のデータの拡充と利活用促進に向けた取り組みを行った。

ア) 九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」

掲載コンテンツの整備・更新、および利用者の増加に向けた周知活動を行った。新たなる日次データとして、おでかけウォッチャーのデータを活用し、市町村毎の観光来訪客数を令和元年（2019 年）と比較した「おでかけ指数」の掲載を開始した。賛助会員企業での更なる活用に向けては、BIZCOLI でのオンラインセミナー「ビジネスはもっと楽になる！地域経済データ活用術」、福岡県ほか個別の自治体・企業向けの説明会・講習会を実施した。

イ) 熊本県観光連盟 WEB サイトでの観光統計データ・観光 DI のデジタル提供

熊本県観光連盟の WEB サイトを通じて、データの提供を開始した。データサラダと同様に、BI ツールを WEB サイトに組み込むことで、地区ごとの宿泊者数や入込者数などをビジュアルに捉えることができるシステムとなった。また、令和 4 年度から、宿泊稼働指数を活用した地域別宿泊客数の早期推計、おでかけ指数を新たに掲載した。

⑤その他の事業

毎年、地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行っている。

A. 国内研究会の開催、参加

1) 九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議

昭和 42 年度より毎年 2 回、九州・沖縄の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。

日 程	会 議 名	テ ー マ	講 師 ・ 参 加 者	参 加 者 数
7 月 14 日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（那覇）	「おでかけウォッチャーとデータサラダによる観光客動態分析」	片山部長（講演）	12 人

【加盟機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(株)長崎経済研究所
(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会	

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟おり、令和4年度地方シンクタンク協議会総会（大阪開催）に、令和3年度幹事として出席した。また、九州・沖縄ブロックでの活動では、2月2日（木）に開催された意見交換会と、3月17日（金）に開催された若手交流会に参加した。

【九州・沖縄ブロック加盟機関】

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所	(公財)九州経済調査協会
----------------	----------	----------------	--------------

B. 国際会議の開催、参加

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
11月8日（火） ～9日（水）	日韓海峡圏研究機関協議会	SDGs と地域活性化～ウィズコロナ時代の地域活性化	高木理事長、片山部長、原口研究主査、秋野研究員、福田研究員	36人
2月3日（金） ～4日（土）	福岡・釜山フォーラム	釜山ー福岡 国際地理学（地方自治体、企業、大学）協力の可能性	高木理事長、福田研究員	32人

C. 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。具体的には、①シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、②地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、③「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携と、3つの連携事業を行うこととしている。令和4年度は新機構長との意見交換に加えて、機構の所属教員に対してデータサラダやおでかけウォッチャーの説明を行い、新しい連携可能性を模索した。

(2) 受託研究事業

令和4年度は計50本のプロジェクトに取り組んだ。台湾 TSMC の熊本県への進出に伴う半導体産業関連、外国人労働者に対する大規模な実態調査、J クレジット普及に係る業務や洋上風力分野など脱炭素に係る業務等、産業界からも関心の高い業務に取り組んだ。また、ジェネリック医薬品の使用促進を通じた医療費削減を目的とするレセプト分析など社会的インパクトが大きいテーマや、従前の統計やアンケートなどの調査手法に加え、事業者や住民の活動へより直接的に関与する実践的な事業支援を通じた研究に対しても積極的に取り組んだ。

【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)(内閣府)
3	令和4年度地域経済構造分析調査業務委託	佐賀市
4	細島港利用促進に係る物流調査業務	宮崎県

5	「北九州貿易統計」作成業務	(公財)北九州貿易協会
6	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	㈱バズブック
7	令和4年度(2022年度)熊本県観光統計調査業務委託	熊本県
8	中部圏の定量評価・国際地域間比較分析調査	(公財)中部圏社会経済研究所
(地方創生)		
① 観光		
9	令和4年度竹富町観光振興基本計画策定業務	竹富町
10	持続可能な観光地づくりに関するプロジェクトチーム会議運営支援等委託業務	別府市
11	ビッグデータを用いた錦町観光スポット来訪者調査業務	(一社)錦まち観光協会
② その他		
12	「佐賀市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の見直しに向けた基礎調査分析業務委託	佐賀市
(地域振興)		
① 観光		
13	位置情報データの加工と可視化 一式	(国大)九州工業大学
② その他		
14	中小企業振興基本計画更新業務委託	嘉麻市
15	地域経済産業活性化対策等調査(商店街等におけるデザイン経営の活用可能性調査)	九州経済産業局
16	九州経済を考える懇談会の実施	(一財)九州オープンイノベーションセンター
(産業振興)		
① 産業全般		
17	令和4年度政策金融評価報告書に係る調査・分析等の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
18	飯塚市産業振興ビジョン策定支援業務委託	飯塚市
19	北九州市重点産業の検討及び誘致戦略の策定業務	北九州市
20	直方市産業振興ビジョン及び直方市産業振興アクションプランの策定業務	直方市
② 半導体関連		
21	半導体産業をターゲットとする「多様な連合体の形成」のための将来ビジョン策定に向けた九州地域半導体産業動向調査一式	産業技術総合研究所九州センター
22	令和4年度沖縄振興推進調査(沖縄県における半導体関連産業の成長可能性調査)	沖縄総合事務局
23	県内半導体関連企業ビジネス促進・課題調査業務	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団
③ 新産業・その他		
24	ベンチャー・スタートアップ企業の成長による地域活性化	(公財)東北活性化研究センター
25	ベトナム国自然調和型養殖技術を通じたエビ養殖生産性向上の案件化調査	中島物産(株)
(社会資本)		
26	延岡市障がい者・児支援拠点等の整備可能性調査業務	延岡市
27	保健所機能等検討調査業務	久留米市
28	北九州空港の整備による経済波及効果分析	㈱日本空港コンサルタンツ (九州地方整備局)

29	「大川の駅」実施計画策定業務	㈱オリエンタルコンサルタンツ
30	大分市西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業に係る効果検証業務委託	大分市
31	祝祭の広場に係る効果検証業務委託	大分市
32	みやま市産業団地への企業立地に伴う経済波及効果推計業務委託	みやま市
33	福岡県保健環境研究所移転に伴う経済波及効果調査業務	みやま市
(雇用・人材育成等)		
34	熊本県における外国人の労働及び生活実態調査	JICA 九州
35	工学系学生支援プロジェクト事務局業務	メカトラックス㈱
36	女性活躍実践会議 社会課題解決に向けた討論会・提言書作成支援業務	福岡県
37	特定半導体の安定供給体制の構築・維持に必要な人材育成・確保に関する調査	(一財)九州オープンイノベーションセンター
38	地域政策デザインスクール支援事業	地域政策デザインスクール実行委員会
(医療・福祉)		
39	福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
40	福岡市在宅医療・介護連携推進事業支援業務委託	福岡市
41	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進業務委託 (令和4年度)	大牟田市
42	福岡県ジェネリック医薬品使用促進事業におけるレセプト分析業務	福岡県
(環境・脱炭素)		
43	直方市環境基本計画策定業務	直方市
44	福岡市内事業者の脱炭素に関する実態調査・分析業務委託	福岡市
45	令和4年度国内における温室効果ガス排出削減・吸収量認証制度の実施委託 (J-クレジット制度推進のための地域支援事業)	九州経済産業局
46	スマート回収モデル調査に係る住宅用太陽電池モジュール廃棄実態アンケート調査業務	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター
47	薩摩沖洋上風力発電事業の鹿児島県、阿久根市、薩摩川内市、いちき串木野市における経済波及効果測定業務	三井不動産㈱
(行財政)		
48	令和4年度経済産業政策・第四次産業革命関係調査事業(経済産業局の業務DX化とその効果検証のための調査に係る調査業務)	九州経済産業局
49	福岡市の小・中学校区における将来人口推計調査業務委託	福岡市
(その他)		
50	九州における災害時の民間企業資源の活用可能性調査業務	(公財)佐賀未来創造基金

注) 上記以外に、収益事業を中心に20本の調査プロジェクトを受託

(3) 九経調地域研究助成事業

九経調地域研究助成事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成26年度から実施している。令和4年度は2月7日(月)～4月15日(金)の応募期間に32本の申請を受付け、5月11日(水)開催の「九経調地域研究助成委員会」において5本の助成候補先を選定、5月30日(月)開催の理事会にて助成先を正式決定した。6月23日(木)には、助成先の研究代表者5名とオンライン面談を実施し、委員からの指摘事項を伝えた他、今後の調査にあたって意見交換を行った。その後、助成金の支給、調査研究を実施し、3月31日(金)までに成果物の提出を受け付けた。

なお、令和3年度に助成した論文3本については、九州経済調査月報6月号に掲載し、同月のビズコリトークにて内容を報告した。

審査結果

20万円助成/本

	テーマ	申請者・研究代表者（敬称略）
【テーマ①】九州地域における、社会経済の発展、産業振興、地域振興に関する調査研究		
1	人口減少社会のまちづくりにおける政策評価の「モノサシ」に関する研究 ～九州各都市における中心市街地活性化の取組を対象として～	東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻都市持続再生学コース 吉次 翼
2	九州地方の在日ネパール人におけるコロナ禍の経済的影響と対処戦略 ～在日ネパール人を取り巻く社会的文脈はコロナ禍の経済的影響や対処戦略にどのような影響を与えているか～	日本経済大学 専任講師 太田 智之
3	人と暮らしを起点とした地域づくり ～起業×ネットワーク化＝エリアの価値向上～	福岡県地方自治研究所 特別研究員 鄭 ハナ
【テーマ②】デジタルトランスフォーメーション（DX）による地域活性化に関する調査研究		
4	障害者就労支援におけるDX化に向けたテクノロジー活用導入とキャリア支援の現状について	福岡リハビリテーション専門学校 白澤 愛美
5	DX および情報配信による地域公共交通の活性化に関する調査研究	九州大学情報基盤研究開発センター 助教 内林 俊洋

九経調地域研究助成委員会 委員

	氏名	所属	役職	備考
1	高木 直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	委員長
2	安浦 寛人	(公財)福岡アジア都市研究所	理事長	
3	松田 美幸	(公財)九州先端科学技術研究所	特別研究員	
4	柴田 建哉	(株)西日本新聞社	代表取締役社長	
5	中村 航洋	(株)日本政策投資銀行 九州支店	支店長	

*委員の所属・役職は委員会開催時（令和4年5月）

（4）休眠預金等活用事業（ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業）

令和2年度に休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択され、3カ年に亘って5つの実行団体（助成先）のソーシャルビジネスの伴走支援を行い、持続可能なソーシャルビジネスモデルの確立・発展を図るとともに、ソーシャルビジネスに関わる各種機関のネットワーク化推進と新たなソーシャルビジネスの起業誘発を図り、九州・沖縄・山口地域がソーシャルビジネスの先進モデル地域となることを目指している。

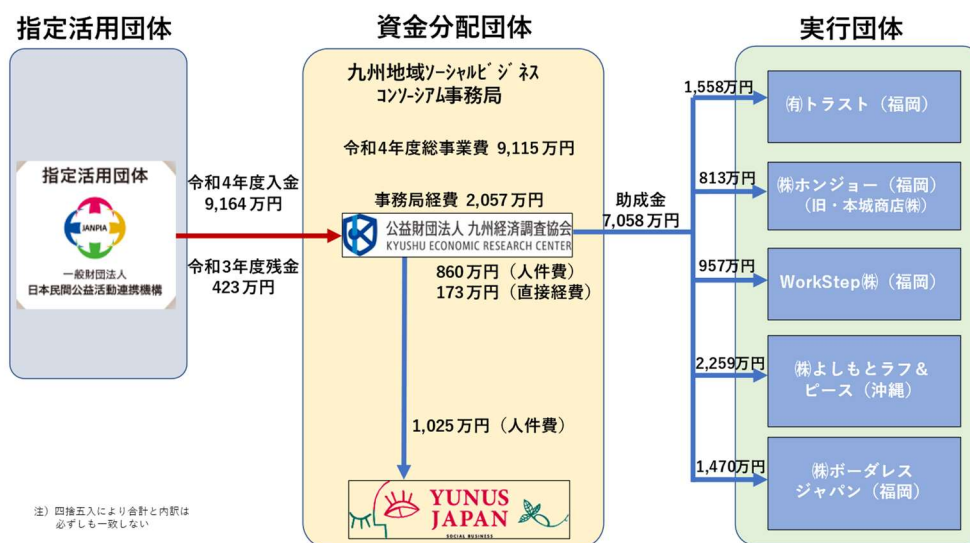
令和4年度は九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター（SBRC）の「ソーシャル・アントレプレナーシップ」講座や事業構想大学院大学などにおいて、休眠預金事業の制度概論を伝えたほか、実行団体の事業プランを事例にしつつ、社会起業に関するディスカッションを行った。

各実行団体とも着実に事業を推進しており、それぞれ以下の成果を挙げている。

休眠預金等活用事業の実行5団体の事業概要

事業名	団体名	実施地域	事業内容
「コ・ワーケーション事業」による九州の地域活性化	(有)トラスト (コ・ワーケーション推進コンソーシアム)	福岡県	社会起業家の支援組織として(一社)リエートスを設立し、「スモール起業」の支援体制を確立した。加えて、「暮らし方」を支援するコレクティブハウスの設置に関しては、門司港にて不動産物件の取得を行い、「POST & Go」と命名し、リノベーションに取り掛かっている。
沖縄県におけるソーシャルビジネスインキュベーション推進事業	株よしもとラフ&ピース	沖縄県	「BS よしもとチャンネル」を開設し、ソーシャルビジネス番組の提供を開始した。同時に、社会起業家育成プロジェクト「島ラプ祭 ソーシャルビジネスコンテスト(15団体参加)」を開催し、沖縄国際映画祭会場にて発表、その後コンテスト上位の団体に対して事業化に向けた伴走支援を継続している。なお、ソーシャルビジネスコンテストに向けた伴走支援の場として、島ラプアカデミーの運営をうむさんラボとともに進めており、ソーシャルコンセプトやビジネスプランのブラッシュアップのコーチングを行っている。
『捨てるから創るへ』医療機器リサイクルプラットフォームの事業化	株ホンジョー (旧・本城商店株)	福岡県/ 九州地域	医療用ベッドにターゲットを絞り、北九州市においてリユース・リサイクルの仕組みとクラウドのシステムを構築中である。また、北九州市立大学と連携して、LCA(ライフサイクルアセスメント)とCO2削減効果、SR01(社会的投資収益率)の算出を行い、活動の価値を見える化する取り組みを進めている。さらに、久留米大学や久留米大学病院との連携で、横展開を進めつつある。
ママドラフト会議 for Kyushu Island (九州・山口・沖縄広域圏)	WorkStep株	福岡県/ 九州地域	女性の復職・キャリアマネジメントに係わるオンライン研修の仕組みを構築し、福岡女子大学と連携した女性のためのウエルカムバック支援プログラム&ドラフト会議、北九州市と連携したママドラフト会議を展開している。また、オンラインマッチングサイト「福岡じょしごと」を開設し、求人サイドの企業ならびに求職サイドの女性の登録、双方のマッチングを進めている。
ボーダレスソーシャルバンク	株ボーダレス・ジャパン	東京都/ 九州地域	社会起業家養成塾である「ボーダレスアカデミー」を継続的に展開し、その卒業生の事業化を支援する「ボーダレスソーシャルバンク」を設立した。事業化に向けた経営支援ならびに資金調達支援などに取り組むとともに、京都信用金庫と連携協定を結び、創業資金の無利子融資の実現に至っている。また、資金調達の一つの方策として掲載手数料0円のクラウドファンディング「フォアグッド」を立ち上げ、運用を開始している。

休眠預金等活用事業の資金フロー (令和4年度)



(5) おでかけウォッチャー事業

新事業「おでかけウォッチャー」は、令和3年10月にサービスサイト（テスト版）を開設、令和4年3月に内閣府公益認定等委員会に事業の変更認定を申請した。9月に同委員会から認定を受けた後、収益事業として10月から正式に事業を開始した。

スマートフォンの位置情報データを活用し、市区町村や個別の観光スポット別に、「どういった人達が」、「どこから」、「何人」来訪したのか。また、直前に「どこに立ち寄り」、「どこに向かうのか」を把握することを可能とした。令和4年度末には、月次データによる来訪地×属性（発地・性年齢）、周遊×属性のクロス集計機能を新たに追加した。また、九州大学、九州工業大学などと連携し、米国 Near Pte 社のデータを用いて、おでかけウォッチャーにおける訪日外国人データ分析機能の搭載可能性を検証する実証実験を開始した。

令和5年3月時点で、自治体・観光協会・DMO・行政機関等の観光行政担当者が無償で利用可能な基本サービスには364団体（うち九州地域166団体）、有償のプレミアムサービスには33団体（うち九州地域12団体）が登録している。

2. 講演会・セミナー事業

研究成果を広く伝えるために、当会主催で定例の講演会やセミナーを開催している。令和4年度は55回開催した。新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、会場開催やオンライン開催、ハイブリッド（オンライン+会場）開催を使い分けながら実施した。参加者数は延べ2,951人であった。

（1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（計10回）

2023年版九州経済白書「九州地域の観光復興に向けて ～スマホデータにみる観光行動の変容と観光地の対応～」の刊行後、九州・沖縄・山口の10都市にて開催した。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡 北九州	2月7日 (火)	オンライン	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 (一社)西日本工業倶楽部 福岡商工会議所 北九州商工会議所	松嶋次長	211人
久留米	3月15日 (水)	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	片山部長	34人
佐賀	3月3日 (金)	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	片山部長	32人
長崎 佐世保	2月10日 (金)	オンライン	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 (株)長崎経済研究所 佐世保商工会議所	松嶋次長	90人
熊本	3月13日 (月)	くまもと森都心プラザ 2F 肥後銀行セミナールーム	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	松嶋次長	29人
大分	3月17日 (金)	J-COM ホルトホール大分	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	松嶋次長	40人
宮崎	2月24日 (金)	宮崎観光ホテル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	松嶋次長	42人
鹿児島	3月2日 (木)	鹿児島銀行本店別館ビル	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	松嶋次長	42人
沖縄	2月16日 (木)	パシフィックホテル沖縄	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	松嶋次長	35人
山口	2月22日 (水)	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	松嶋次長	60人

（2）定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（1回）

当会会員との交流を目的に毎年開催している。令和4年度は電気ビル共創館移転10周年を記念して、落語家・立川談慶氏を講師に迎え、「落語に学ぶビジネスと生き方」をテーマに3年ぶりに講演会と懇親会をセットで開催した。懇親会では、立川談慶氏による落語が披露された。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
12月6日 (火)	落語に学ぶビジネスと生き方	落語家 立川 談慶 氏	講演会 112人 (懇親会 47人)

②アジア経済講演会 (1回)

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。令和4年度は3月にインドネシアを対象に、現地の情勢やホットトピックス、ビジネスの現状や将来性などについて研究者と実務者が講演する形式で、オンラインで開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
3月9日 (木)	経済大国インドネシア そのポテンシャルと実像	ジェトロ・アジア経済研究所 開発研究センター 濱田 美紀 氏 双日インドネシア会社 板垣 誠治 氏	320人

*ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の3者共催

③調査技法セミナー (1回)

九州・沖縄・山口の地方銀行系シンクタンクの研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。令和4年度はアンケート調査をテーマに、基礎技法の講義・意見交換、応用技法のデモ、当会の受託調査に関するアンケートの取組報告を行った。

日 程	内 容	講 師	参加者数
9月14日 (水)	アンケート調査の基礎	九州産業大学 山下 永子 教授	20人
	アンケート調査の技法に関する意見交換	—	
9月15日 (木)	AI・機械学習によるアンケート調査の高度化	当会 渡辺研究員、相川研究員	19人
	リーチしづらい層を対象とした調査の実践 ～熊本県における外国人労働者の実態調査を題材に～	当会 原口研究主査、平松研究主査	

参加機関

(株)佐賀銀行	(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所
(株)地方経済総合研究所	(一財)山口経済研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫
(公財)九州経済調査協会		

④経済講演会 (1回)

経済講演会については、「日本経済展望～新しい資本主義と九州の戦略」をテーマにオンラインで開催した。なお、講演録を九州経済調査月報11月号と12月号に掲載した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月22日 (金)	日本経済展望～新しい資本主義と九州の戦略	(株)大和総研 経済調査部 日本経済調査課長 シニアエコノミスト 神田 慶司 氏	141人

共催：(株)ふくおかフィナンシャルグループ

後援：(株)FFG ビジネスコンサルティング

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、令和 4 年度は合計 41 回実施した。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、オンライン形式とハイブリッド形式（オンライン＋リアル）で開催した。

①ビズコリトーク（イブニングセミナー）（計 13 回）

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している。新型コロナウイルス感染防止のため、WEB 配信のみの開催となった。九州経済、観光 DX、ビッグデータでみる都市機能、地方創生の新しい流れ、未来へ進む沖縄等をテーマに研究成果を報告した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4 月 12 日 (火)	2022 年度の九州経済	当会 松嶋次長、小柳主任研究員、秋野研究員	60 人
5 月 17 日 (火)	観光 DX	(株)日本経済研究所 地域・産業本部 森田 洋任 氏、当会 岡野部長、小柳主任研究員	55 人
6 月 14 日 (火)	九州の地域研究～2021 年度九経調地域研究助成事業 研究レポート発表～	九州大学大学院 代表 岩淵 丈和 氏、 YOHAKU-DESIGN 代表 西田 明紀 氏、 日本経済大学 教授 内田 浩幸 氏	32 人
7 月 12 日 (火)	ビッグデータでみる都市機能	当会 相川研究員	48 人
8 月 9 日 (火)	アフターコロナの健康経営 治療から予防へ	シンワラボ(株) 代表取締役 加藤 シゲキ 氏、(株)オケイオス 代表取締役社長 中村 高歩 氏、 國本衛生コンサルタント事務所 代表・産業医 國本 政瑞沖 氏	22 人
9 月 13 日 (火)	地方創生の新しい流れ	福岡 e スポーツ協会 会長 中島 賢一 氏、 (一社)ベンチャー型事業継承 事業戦略統括兼九州エリア責任者 山岸 勇太 氏	23 人
10 月 11 日 (火)	未来へ進む沖縄	元(株)りゅうぎん総合研究所 上席研究員 金城毅氏、 泡盛検定協会 会長 古賀 桃子 氏	20 人
11 月 8 日 (火)	人と地域を繋ぐ図書館	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」 図書司書 小宮山 剛 氏、当会 岡本次長	41 人
12 月 8 日 (木)	発見！九州経済ポテンシャル 2023～図説九州経済 2023×DATASALAD の活用法～	当会 平田次長	90 人
12 月 16 日 (火)	アグリテックの未来	当会 能本次長、平松研究主査、松尾研究員	25 人
1 月 10 日 (金)	九州の新たな 1 年	当会 相川研究員	73 人
2 月 14 日 (火)	女性の人口移動	(株)マイナビキャリアリサーチラボ 主任研究員 早川 朋 氏、当会 平田次長	41 人
3 月 14 日 (火)	アートと地域	(株)丹青社 CMI センター リサーチャー 中嶋 文香 氏、(株)みぞえ画廊 専務取締役 阿部 和宣 氏	20 人

②地域経営セミナー（計8回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による、経営スキルアップセミナーを開催している。8月にはBIZCOLI開館10周年を記念して、開館時にアドバイザーとして活躍頂いたブックディレクター 幅 允孝氏を講師に講演会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月9日 (木)	九州におけるクリエイティブ企業創出の取り組み Vol.2「福岡移住計画と近郊におけるコワーキングスペースの実践の現在地点」	(株)SALT 代表取締役 須賀 大介氏	28人
7月8日 (金)	九州におけるクリエイティブ企業創出の取り組み Vol.3「コミュニティ形成の重要性～関係人口の増やし方～」	(株)イノベーションパートナーズ 代表取締役社長 本田 晋一郎氏	27人
8月4日 (木)	九州におけるクリエイティブ企業創出の取り組み Vol.4「応援とチャレンジの連鎖がまちを変える～油津商店街・那珂川市にみる新しい地方創生のかたち～」	(株)ホーホウ 代表取締役 木藤 亮太氏	37人
8月27日 (土)	BIZCOLI10周年記念イベント 届きにくいものの伝え方～ブックディレクターが語る、本と人が出会う仕掛けづくり～	(有)BACH 代表 幅 允孝氏	会場 30人 オンライン 35人
9月13日 (火)	ビジネスはもっと楽になる！地域経済データ活用⑩～事業戦略策定や商談に使える「DATASALAD」の解説～	当会 渡辺 研究員	48人
10月26日 (水)	脱炭素で地域経済の活性化を実現する「九州モデル」～EVアイランドとしてのポテンシャルが高い九州～	Mobility Open Blockchain Initiative 理事／(株)伊藤忠総研 上席主任研究員 深尾 三四郎氏	会場 6人 オンライン 54人
11月17日 (木)	DXが進まない 本当の理由と処方箋	DX 専門コンサルタントファーム (株)日浅 代表取締役社長 日浅 光博氏	28人
12月15日 (木)	Z世代の特性から見る 今後の採用・育成戦略	(株)マイナビ 福岡支社 採用支援部部长 川野 恵理氏	60人

③共催セミナー（計7回）

BIZCOLIでは、賛助会員等と共催セミナーを開催している。西九州新幹線開業や沖縄復帰50周年を記念して、九州旅客鉄道(株)、九州産業大学、沖縄国際大学等の協力を得て開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月23日 (木)	第9回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミナー「グローバル視点で考える リテールビジネスの未来」	九州産業大学 商学部経営・流通学科 准教授 方 慧美氏 九州産業大学 商学部経営・流通学科 准教授 侯 聡聡氏	41人
7月16日 (土)	専門図書館協議会×BIZCOLI コラボセミナー「ウィキペディアで学ぶ情報リテラシー～Wikiを活用した新たな図書館の可能性～」	元ウィキペディア日本語版管理者 海瀬 氏	会場 14人 オンライン 44人
7月19日 (火)	令和4年度九州異業種交流会「イノベーションを生み出す『不の解消』マネジメント～職場の基礎代謝⑩をアップして"事業発展型組織&自走自律型社員"を創ろう！～	(株)職場のSDGs研究所 代表取締役／職場の基礎代謝⑩ 専門家 白井 旬氏	16人

8月31日 (水)	西九州新幹線開業応援イベント 『祝！九州』をもう一度 新幹線開業に向けたそれぞれの思い～『かもめ』がつなぐ西九州～	九州旅客鉄道(株) 執行役員 長崎支社長 田中 渉 氏 新幹線開業準備室 室長 山内 崇 氏	会場 32人 オンライン 81人
10月13日 (木)	沖縄国際大学×BIZCOLI コラボセミナー 「沖縄振興 50年の現状・課題・展望～新たな時代へ向けた自立への方向性～」	沖縄国際大学 経済学部 教授 宮城 和宏 氏	45人
11月2日 (水)	令和4年度九州異業種交流会「働き方改革×SDGs・ESG経営」で起こすイノベーション～持続可能な組織づくりとSDGs・ESG経営で「未来から愛される会社」になろう！～	(株)職場のSDGs研究所 代表取締役/職場の基礎代謝® 専門家 白井 旬 氏	30人
2月21日 (火)	第10回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミナー「事業継承、M&Aによる中小企業の労働生産性向上～カギはダイナミック・ケイパビリティにあり！～」	九州産業大学 商学部経営・流通 学科 准教授 木下 耕二 氏 九州産業大学 経済部経済学科 教授 郭 智雄 氏	22人

④九州国立博物館応援セミナー (計4回)

九州国立博物館で開催される特別展に合わせて、担当学芸員が解説するセミナーをオンライン形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月27日 (水)	世界の中の北斎—浮世絵と文化交流の歴史—	九州国立博物館 文化財課 主任研究員 畑 靖紀 氏	39人
7月26日 (火)	沖縄復帰50年記念 琉球	九州国立博物館 展示課 主任研究員 一瀬 智 氏	40人
10月19日 (水)	ポンペイ—“そこにいた”人々の暮らし—	九州国立博物館 展示課 課長 齊部 麻矢 氏	31人
2月2日 (木)	加耶—1500年前の隣人に会おう—	九州国立博物館 文化財課 課長 白井 克也 氏	44人

⑤サイエンス・カフェ (計7回)

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催して行う科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供している。令和4年度は、オンラインまたはハイブリッド形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月13日 (金)	環境の謎に迫る！	九州大学 大学院理学研究院地球惑星科学部門 教授 山本 順司 氏	オンライン 23人
6月21日 (火)	未来の魚の謎に迫る！	九州大学 農学研究院資源生物科学部門 准教授 太田 耕平 氏	オンライン 33人 会場 6人
7月5日 (火)	海に潜む寄生虫の謎に迫る！	九州大学 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 講師 小島 夫美子 氏	オンライン 36人 会場 5人
7月22日 (金)	バイオ・フードから考える「海」と「食」	九州大学 芸術工学研究院 音響設計部門 准教授 城 一裕 氏	17人
10月7日 (金)	世界遺産、どこまで知っていますか？	九州大学 法学研究院 主幹教授 河野 俊行 氏	オンライン 21人 会場 6人

12月2日 (金)	メタノールエネルギーキャリアに迫る！	カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 三井化学カーボンニュートラル研究センター 教授 中村 潤児 氏	オンライン 34 人
12月13日 (火)	アート×農の魅力に迫る！	九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授 長津 結一郎 氏	オンライン 29 人

⑥BIZCOLI 倶楽部 (1回)

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数セミナーとして平成 27 年度に開始した。当会役員を対象に、長崎県壱岐島出身で日本の電気王と呼ばれた松永安左エ門をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月14日 (木)	松永安左エ門と福岡の近現代史	㈱アソシエ 近代史研究家 益田 啓一郎 氏	7 人

⑦ビッグデータセミナー (1回)

地域分析を行う上でデータサイエンティストに求められる技能や、ノウハウを学ぶセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
8月26日 (金)	CCC マーケティング ×DATASALAD：生活者の声を 起点にした企画開発 ～データ 活用のメリット&事例紹介編～	CCC マーケティング(株)/CCC マーケティング 総合研究所 財津 涼子 氏 (有)タケシゲ 取締役 住田 良幸 氏 CCC マーケティング(株) マーケティングソリューション第2ソリューション 第5 戸田 貴之 氏	オンライン 70 人 会場 8 人

3. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まり、知的刺激を受けられる空間づくりに努めている。令和4年4月、BIZCOLI は開館から10年を迎え、8月には10周年記念セミナーを開催した。

（1）地域経済図書館としてのサービス

1) コロナ禍での対応

BIZCOLI はコロナ禍でも開館を続けた。感染拡大防止のために、来館時の消毒・検温・健康管理カードへの記入を来館者をお願いするほか、座席数の削減、会議室使用の制限などの対策を講じた。

2) BIZCOLI の利用状況

令和4年度の利用者は15,163人と、対前年同期比12%増となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常の半分の席数で運営を続けた。ほぼ全ての月で、前年同月の来館者数を上回った。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成30年度	18,461人
平成25年度	12,238人	令和元年度	20,544人
平成26年度	13,479人	令和2年度	12,057人
平成27年度	15,486人	令和3年度	13,599人
平成28年度	16,984人	令和4年度	15,163人
平成29年度	16,743人		

3) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。令和4年度は34件の行政や企業、団体等と連携して、常設・企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	パンフレット、関連統計書など
沖縄県	パンフレット、関連統計書など
鹿児島県	パンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛年鑑、地図など
熊本県	パンフレット、関連統計書など
熊本市	パンフレット、関連統計書など
(株)コマンドディー	ドローン実機、資料など

佐賀県	パンフレット、関連統計書など
(株)スターフライヤー	資料、航空機模型の提供
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	パンフレット、関連統計書など
(一社)日本内部監査協会	書籍、資料の提供
福岡県	パンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	日本経済の「今」がわかる 関係資料
福岡市	パンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	パンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	パンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州旅客鉄道(株)	西九州新幹線関連のパネル、パンフレットなど
(株)QPS 研究所	同社の高精細小型レーダー衛星「QPS-SAR」の部品展示
国連世界食糧計画	レッドカップキャンペーンの資料、グッズの提供
絶景九州	写真の展示（パネル、タブレット）
日本通運(株)	ホワイト物流関連資料など
(株)ナカバヤシ	脱プラ・廃プラシリーズ「asue」商品、資料の提供
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示
(株)ヤッホーブルーイング	商品、マーケティング関連書籍の展示
九州産業大学	スタンフォード大学 SPICE との連携教育

(2) 会議室の利用状況

BIZCOLI では、賛助会員向けに貸会議室を提供している。コロナ禍により、定員の半分を上限に入室制限をかけた。令和4年度の収益額は、対前年同期比 10.8%減の 100 万円であった。

(3) スキルアップ・リモートワークのための個室空間の提供

BIZCOLI では 15 席の半個室タイプの座席を提供しており、令和4年度は延べ 3,299 時間の利用（前年度比 18.2%増）があった。また、Web 会議が可能なリモートワークブース 2 席を設けており、延べ 382 時間（前年度比 76.9%増）の利用があった。

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

会員数	458名（令和5年3月末現在）
令和4年度決算	75,063千円

令和4年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総会、常任幹事会、幹事会の開催 ・例会の開催 ・各委員会において講演会等を開催 ・県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催 ・春秋会（ゴルフコンペ） ・カップリングパーティー（婚活支援）
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・九州経済同友会大会（佐賀） ・代表幹事会 ・企画委員会 ・九州はひとつ委員会 ・西日本経済同友会代表者会議 ・九州地域戦略会議、同会議で実施が決定した個別プロジェクト会議への参加 ・九州経済を考える懇談会

*その他、講演会や会合などを開催 上記を含む総会合数 150回（うち共催・後援 15回）

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の重要課題について認識を共有し、課題解決の方向性について議論するものである。平成22年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始された（平成25年1月に名称変更）。（一社）九州経済連合会、（一財）九州オープンイノベーションセンター、（公財）九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営、当会理事長がコーディネーターを務めている。令和4年度は以下の内容で開催した。

日時・場所	テーマ	参加者
【第1回】 7月6日（水） （一社）九州経済連合会	1) 九州スマートリージョン構想について（九州経済連合会行財政委員会企画部長 石丸 修平 氏の報告ののち討議） 2) コロナ禍における経済・社会・文化活動の再開について（谷川会長より「3年ぶりの『博多どんたく港まつり』～今回の取り組みの振り返り」の報告ののち討議） 3) 事務局より九州DX推進コンソーシアムについて報告	（一社）九州経済連合会 会長 倉富 純男 氏（座長） ※九州経営者協会 会長を兼任 九州商工会議所連合会 会長 谷川 浩道 氏 九州経済同友会 代表委員 青柳 俊彦 氏
【第2回】 2月15日（水） （一社）九州経済連合会	1) 九州MaaSプロジェクト研究会について（九州経済連合会 中川部長の報告ののち討議） 2) 九州観光について（第三期九州観光戦略（案）について九経連 中川部長より、2023年版九州経済白書について九経調 松嶋次長より報告ののち討議） 3) 事務局より九州広域データ連携プラットフォーム及び九州デジタル経営塾について報告	（一財）九州オープンイノベーションセンター 会長 瓜生 道明 氏 （コーディネーター）当会 高木 直人 理事長

(3) 地域政策デザインスクールの事務局

「地域政策デザインスクール」(理事長：福田 晋 九州大学 理事・副学長)は、社会人と九州大学大学院生を対象に、自律的な地域経営を担う高度人材の育成と、社会課題の解決に貢献する教育・研究を目的に、平成 22 年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(株)西日本新聞社、福岡地域戦略推進協議会、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

令和 4 年度は、53 名(受講生 29 名、聴講生 24 名)が受講した。受講生は、直方市、福岡県粕屋町、長崎県東彼杵町、佐伯市、宮崎市の 5 自治体と連携して政策提言づくりに取り組んだ。6 月に開講し、12 月に政策研究発表会を開催した。

地域政策デザインスクール 講師一覧

氏 名	所 属
永田 晃也	九州大学 教授、科学技術イノベーション政策教育研究センター (CSTIPS) センター長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員教授
原口 唯	(株)YOUI 代表取締役/九州大学 客員准教授
濱 久人	(株)彩成コンサルティング 代表取締役社長
岡野 涼子	(株)ENTO 代表取締役
南雲 岳彦	(一社)スマートシティ・インスティテュート 専務理事
向山 淳	アジア・パシフィック・イニシアティブ 主任客員研究員
村岡 浩司	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
崎田 恭平	(株)飢肥社中 代表取締役
麻生 泰	(一社)九州経済連合会 名誉会長

(4) 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムの事務局

令和 2 年度に休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択され、その推進母体となるコンソーシアム事務局を幹事団体である当会が運営している。事業の詳細は、前述のとおりである。

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末の資料編に掲載している。

対外活動実績

区 分	内 容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	<p>【行政】 経済産業省、九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、九州管区行政評価局、福岡県、長崎県、熊本県、福岡市、北九州市、行橋市、鳥栖市、熊本市</p> <p>【団体】 (公財)飯塚研究開発機構、(公財)経営者顕彰財団、福岡経済同友会、(公財)日本生産性本部、(公財)福岡アジア都市研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(一財)機械振興協会、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(一社)九州観光機構、(一社)九州経済連合会、(一財)九州電気保安協会、九州版炭素マイレージ制度推進協議会、専門図書館協議会</p> <p>【民間・大学】 ㈱福岡放送</p>	就任件数 計 28 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学 * 1 コマの派遣は含まず	計 1 大学 1 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	NHK「おはよう九州・沖縄」、NHK「福岡ロクいち!」、TBS テレビ、TNC「ももち浜 S 特報ライブ」、RKB ニュース、RKK 熊本放送、NHK 富山放送局、北日本放送、富山テレビ、RKB「タダイマ!」、FBS「めんたいワイド」、テレビ長崎、長崎国際テレビ、TVQ「ニュースふくサテ!」	延 19 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日経速報ニュースアーカイブ、毎日新聞、日経 MJ、西日本新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムス、山口新聞、日経産業新聞、日刊工業新聞、日刊建設工業新聞、静岡新聞、京都新聞、信濃毎日新聞、北日本新聞、日本食糧新聞、日刊産業新聞、日刊海事プレス、釜山日報、ニッキン、ニッセイ基礎研究所 Web サイト、共同通信ニュース、PR TIMES、TBS NEWS DIG、TKU ニュース、熊日電子版、yahoo! ニュース、西日本新聞 me	延 395 件
(5) インターネットの受入	インターンシップ: 中村学園大学短期大学部 (8 月 22 日 (月) ~ 8 月 26 日 (金) 受け入れ)	1 名

6. 会務運営

(1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催

公益財団法人に移行して10年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。令和4年度は、理事会を4回、評議員会を4回開催、幹事会を1回、企画委員会を1回開催した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議案等
5月30日 (月)	第48回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について 第2号議案 令和3年度決算(案)について 第3号議案 幹事の選任について 第4号議案 参与の委嘱について 第5号議案 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第6号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 新事業「おでかけウォッチャー」について 第3項 その他
10月7日 (金)	第49回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 評議員会の招集について
10月17日 (月)	第50回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和4年度更正予算(案)について 第2号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 令和4年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 新事業「おでかけウォッチャー」について 第6項 その他
3月1日 (水)	第51回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和5年度事業計画(案)について 第2号議案 令和5年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 顧問、参与の委嘱について 第6号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月24日 (金)	第32回評議員会	【決議事項】 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について 第2号議案 令和3年度決算(案)について 【報告事項】 第1項 幹事の選任について 第2項 参与の委嘱について 第3項 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第4項 新事業「おでかけウォッチャー」について 第5項 その他
10月28日 (金)	第33回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 定款の変更について 【報告事項】 第1項 幹事の選任について 第2項 参与の委嘱について
11月9日 (水)	第34回評議員会	【報告事項】 第1項 令和4年度上期事業報告について 第2項 令和4年度更正予算について 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 新事業「おでかけウォッチャー」について 第6項 その他
3月10日 (金)	第35回評議員会	【報告事項】 第1項 令和5年度事業計画について 第2項 令和5年度予算について 第3項 幹事の選任について 第4項 顧問、参与の委嘱について 第5項 その他

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
2月20日 (月)	第16回幹事会	1 令和4年度幹事会からの提案による自主研究の報告 2 令和5年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
1月30日 (月)	企画委員会	1 令和4年度自主研究の報告 2 令和5年度自主研究テーマ(案)について 3 その他

⑤参与会の開催状況 (中止)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) 財務経理・人事労務並びに人材育成の強化

当会の主務官庁である内閣府に、6月に令和3年度事業報告・財務諸表等を提出した。人事労務については、新たな調査研究ニーズに対応できる人材の採用を進めるとともに、職員の資質向上に取り組ん

だ。また、厚生労働省が認定するユースエール（若手の採用・育成に積極的な企業を認定）と、えるぼし（女性の活躍推進への取組みが優良な企業を認定）を令和3年度より継続取得している。

（3）会員維持・拡大

①賛助会員

DATASALAD や BIZCOLI、セミナー、講師派遣、職員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めた。令和4年度の入会は前年を11件下回る24件にとどまったものの、退会は前年より14件少ない18件となり、期首572会員から6会員純増して578会員となった。会費実勢額は1億2,818万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
令和4年度期首	572	79	472	18	3
入 会	24	4	16	4	0
退 会	18	1	16	1	0
増 減	6	3	0	3	0
会員種別変更	0	1	-1	0	0
令和4年度末	578	83	471	21	3

- ・平成27年度末 会員数 576 会員 ・会費実勢額 1億2,648万円
- ・平成28年度末 会員数 574 会員 ・会費実勢額 1億2,574万円
- ・平成29年度末 会員数 583 会員 ・会費実勢額 1億2,649万円
- ・平成30年度末 会員数 593 会員 ・会費実勢額 1億2,791万円
- ・令和元年度末 会員数 590 会員 ・会費実勢額 1億2,796万円
- ・令和2年度末 会員数 570 会員 ・会費実勢額 1億2,505万円
- ・令和3年度末 会員数 572 会員 ・会費実勢額 1億2,669万円
- ・令和4年度末 会員数 578 会員 ・会費実勢額 1億2,818万円

②BIZCOLI 会員

令和4年度は、期首71会員から28会員純増して99会員となった。会費実勢額（月会費×12カ月）は、令和4年度末で730万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳（99 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	1	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	12	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	40	ナイトタイム+土曜日	21
土曜日	18	合 計	99

参考

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 49 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。令和 5 年度は 49 件の講師派遣を行った。

講師派遣一覧

日程	依頼先	会合名・タイトル	講演者	参加者数
4月15日 (金)	長崎県立大学	地域創造概論 アフターコロナの企業戦略 ～脱炭素ビジネスとデジタル化～	藤井次長	240人
4月19日 (火)	福岡県経営者協会	一月会 2022年版九州経済白書 アフターコロナの企業戦略	藤井次長	20人
4月20日 (水)	福岡ロータリークラブ	卓話(コロナ禍の九州経済の動向と2020年度の展望)	高木理事長	100人
4月21日 (木)	早稲田大学総合研究機構 次世代ロジスティクス研究所	早稲田大学マンスリーコロキウム 『近隣諸国間輸送結節点としての博多港』	岡野部長	110人
4月26日 (火)	三菱電機(株)九州支社	九州支社 経営方針説明会 九州経済の見通しについて	相川研究員	50人
5月11日 (水)	三菱電機(株)九州支社	カーボンニュートラルとニューノーマル時代のビジネス	藤井次長	25人
6月12日 (日)	産業学会	全国大会共通論題 新しい産業政策の行方 第3報告 「シリコンアイランドの進化の系譜とイノベーション」	岡野部長	50人
6月17日 (金)	三井物産(株)(福岡貿易会)	九州地域の脱炭素ビジネスと今後の展望	藤井次長	80人
6月18日 (土)	菓粧連合九州 (公財)九州生産性本部	菓粧連合九州ブロック会議「九州の経済動向と今後の展望について」	岡野部長	26人
6月20日 (月)	北九州市立大学	環境都市論 再生可能エネルギーの動向	松嶋次長	80人
6月28日 (火)	Gcom ホールディングス (株)地方行政経営研究会	第51回地方行政経営研究会 データ分析最前線「ウィズコロナの地域経済分析手法」	岡野部長	142人
7月12日 (火)	福岡市立福翔高等学校	SDGs チャレンジプロジェクト 中間発表会 (コメンテータ) SDGs を題材とした課題解決型学習	原口研究主査	50人
7月20日 (水)	(株)福岡銀行箱崎支店	第220回 箱崎福和会 最近の経済動向	片山部長	50人
7月21日 (木)	専門図書館協議会	専門図書館協議会 全国研究集会 人がつながる情報がつながる図書館	岡本次長	112人
7月31日 (日)	九州大学 ユヌス&椎木 ソーシャル・ビジネス研究センター (SBRC)	ソーシャル・アントレプレナーシップ 2023 「休眠預金活用制度概論」	岡野部長	26人
8月2日 (火)	九州運輸局	DMO あり方に関する連絡会 九州発の分析プラットフォーム「データサラダ」と「おでかけウォッチャー」～	岡野部長	83人
8月4日 (木)	大牟田市 九州中部商工連合会	有明海沿岸地域振興フォーラム「有明海沿岸地域のポテンシャルと今後の発展可能性」	岡野部長	105人
8月5日 (金)	九州地方整備局	第1回九州圏広域地方計画有識者会議「九州の経済情勢について～九州の発展と交流インフラ～」	岡野部長	20人
8月5日 (金)	福岡地所(株) (株)福岡リアルティ	福岡の不動産動向に関する勉強会	片山部長	90人
8月17日 (水)	北九州商工会議所	九州の脱炭素ビジネスの動向と今後の展望	藤井次長	28人

8月22日 (月)	北九州商工会議所	DXの現状 各業界の事例より	清水研究員	20人
8月25日 (木)	久留米学術研究都市づくり推進協議会事務局	久留米学研都市づくり推進協総会 ウィズ/コロナにおける久留米の経済分析や今後	片山部長	25人
9月2日 (金)	岩手県立大学	産業講演会「シリコンアイランドの進化の系譜とイノベーション～九州における半導体ビジネスの現状と課題～」	岡野部長	35人
9月2日 (金)	九州軟包装部会	夏の部会 2023年の九州経済・日本経済の見通し	相川研究員	50人
9月3日 (土)	㈱ビスネット	福岡女性管理職・リーダーのためのエネルギー勉強会 アフターコロナの九州地域の企業戦略～脱炭素ビジネスへの挑戦～	藤井次長	25人
9月12日 (月)	鹿児島県福岡事務所	コロナ禍の地域経済に及ぼす影響と今後の対応 (藤井次長	23人
10月5日 (水)	㈱日刊工業新聞社	ものづくりフェア2022講演会「シリコンアイランド九州のポテンシャルと未来」(WEB併用)	岡野部長	1,370人
10月5日 (水)	(国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所	国内外におけるリビングラボの活動状況等について リビングラボの概要と事例	原口研究主査	12人
10月6日 (木)	九州地域づくり協会	地域づくり政策セミナー「新国富指標を用いた地域経営」	岡野部長	144人
10月8日 (土)	未来を創る財団	社会生産性研究会「生産性福岡フォーラム」九州の地域経済について (WEB併用)	岡野部長	248人
10月15日 (土)	地域デザイン学会	地域政策フォーラム	岡本次長	30人
10月18日 (火)	熊本県不動産鑑定士協会／九州不動産鑑定所	土地月間記念講演会「シリコンアイランド九州の進化の系譜とイノベーション」	岡野部長	105人
10月19日 (水)	全九州リネンサプライ協議会	秋の研修会 九州の経済状況・観光動向	小柳主任研究員	88人
10月24日 (月)	(公財)九州大学学術研究都市推進機構	第2回公開シンポジウム 和牛輸出に関する現状と課題～多様化する市場ニーズと和牛の輸出拡大～	能本次長	50人
11月6日 (日)	九州大学ビジネススクール	九州大学ビジネススクール社会連携事業 短期エグゼクティブ・プログラム 30年後に向けた九州地域発展戦略	片山部長	40人
11月10日 (金)	㈱西海クリエイティブカンパニー	zerocarbon week saikai 九州地域の脱炭素ビジネスと今後の展望	藤井次長	80人
11月17日 (木)	九州ビルディング協会	11月例会 九州経済・産業の動向 図説九州経済2023より	平田次長	50人
11月30日 (水)	福岡県	DATASALAD(データサラダ)利活用研修 DATASALAの活用法	小柳主任研究員 渡辺研究員	15人
12月14日 (水)	三菱UFJ信託銀行㈱	行員向け研究会 九州経済の概略と福岡市の発展	加峯部長	50人
1月11日 (水)	福岡工業大学	教職員向け就職指導セミナー「半導体産業を取り巻く社会変化と九州企業のポテンシャル」	岡野部長	50人
1月13日 (金)	(一社)日本配電制御システム工業会 九州支部	新年記念講演会 2023年度九州経済の見通し	相川研究員	100人
2月22日 (水)	九州旅客鉄道㈱	グループ内役員勉強会	片山部長	40人
2月24日 (金)	(一財)森記念財団都市戦略研究所	森記念財団都市セミナー「都市の魅力～持続可能で魅力的な国土形成を目指して」	岡野部長	51人
3月3日 (金)	九州大学システムLSI研究センター	九州半導体人材育成ワークショップ2023「次世代半導体人材の育成に向けて！」	岡野部長	258人
3月4日 (土)	ONE KYUSHU サミット	ONE KYUSHU 別府会議「越境せよ！～One Kyushu 新時代の幕開け」	岡野部長	120人
3月7日 (火)	九州電力㈱ 東京支社	2023年九州経済白書 九州地域の観光振興に向けて	片山部長	50人

3月8日 (水)	九州経済産業局	《2030年のその先へ》ポストSDGsセミナー～包摂的成長へのアプローチ～「将来人口推計からみる九州の課題」	小柳主任研究員	93人
3月9日 (木)	株ふくおかフィナンシャルグループ	台湾ビジネスセミナーin 熊本～TSMC 進出で熊本・九州はどう変わるのか～	岡野部長	1,400人
3月14日 (火)	九州経済産業局	宮崎・九州の未来「ツギノ予想図」30年後にむけた九州地域発展戦略	片山部長	50人

2. セミナー等への参加・企画協力（計5件）

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力している。

協力実績一覧

日程・場所	主催者	会合名	備考
4月27日(水) オンライン開催	在日カナダ大使館 東京共同会計事務所	これでわかる！カナダとの活用メリットと実務	後援
7月11日(月) オンライン開催	(一社)九州ニュービジネス協議会	第151回ベンチャープラザ二月会 「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
7月19日(火) 電気ビル共創館 カンファレンス	(一財)九州オープンイノベーションセンター	令和4年度九州異業種交流会「イノベーションを生み出す『不の解消』マネジメント～職場の基礎代謝@をアップして"事業発展型組織&自走自律型社員"を創ろう！～	共催
8月3日(水) ハイブリッド開催	(公財)福岡アジア都市研究所	令和4年度 第1回都市セミナー 「変化に強い企業のつくり方」	後援
11月11日(金) オンライン開催	九州大学	アフガニスタンについて語るとき我々が語ること	後援